

研究課題 (テーマ)		医薬品工学科 2~4 期生のキャリア形成	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	医薬品工学科	主任教授	米田 英伸
	医薬品工学科		医薬品工学科全ての教員
研究結果の概要			
<p>【研究内容】</p> <p>富山県の製薬産業を担う人材を育成するためには県内就職率を 50%以上に保つことが必要である。また、富山県から新薬や新技術を生み出すべく専門性の高い人材を育成するためには大学院の進学率を 50%以上に保つことが望まれる。「くすりのシリコンバレー TOYAMA」、インターンシップ、企業訪問等が、コロナ禍の影響があり例年通りには開催できないと想定できたことから、これらに変わるプログラムを実行した。</p> <p>【研究活動の成果】</p> <p>本プログラムの達成目標として、1. 県内就職率 50%以上 2. 大学院進学率 50%以上を掲げ、昨年度に引き続き学生の「くすりのシリコンバレーTOYAMA」のサマースクールやバイオ医薬品専門人材育成事業への参加、共同研究への積極的な参加を行ってきた。</p> <p>また、授業やゼミ等の機会に県内のくすりのシリコンバレーTOYAMA 参画の製薬関連企業を訪問し、研究開発、製造工程、製造管理・品質管理 (GMP) 等の見学や、大学での講義をお願いし、製薬や関連企業 5 社や薬総研を訪問しての見学を実施するとともに、大学での講義を製薬企業 1 社にお願いすることができた。</p> <p>これらの取り組みの結果、2020 年 3 月に卒業した 1 期生 32 名中、就職者は 15 名 (県内企業 12 名、県外企業 3 名)、大学院等進学したものは 16 名 (県立大学は 15 名、県外大学 1 名)、県外医療系専門学校への進学 1 名となった。当初の目的として挙げた 1. 県内就職率 80% 2. 大学院進学率 50%を達成した。現在、2 期生 (現 4 年生) で大学院進学を希望している者は、37 名中 17 名 (本学大学院 15 名、他大学大学院 2 名 : 46%) となっている。</p> <p>3 年次生のインターンシップ、修士課程卒業生による進路相談と県内製薬会社の企業説明会が例年通りにはコロナ禍の影響により開催できなかった点は残念である。</p>			
今後の展開			
<p>大学院への進学を後押しし、新薬や新技術を生み出すべく専門性の高い人材の育成を進める。さらに、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」への参加を今後も積極的に進める予定である。</p>			